

令和7年度 宮古島市立下地中学校

学習成果報告書



令和7年度3月集合写真

【目次】

1. 今年度の取組について

学校教育目標、育成を図る6つの資質・能力などを踏まえた取組、研修テーマなど・・・1

【授業実践】

(1) 授業実践（研究授業、経年研授業、互見授業等）・・・2

(2) 学校評価からみられる学習の状況・・・4

【学校行事】

(1) 主な学校行事などの取組・・・5

(2) 学校評価からみられる生徒の状況・・・7

【特色ある取組】

(1)～(7)「やりとり帳」など・・・8

(8) 学校評価からみられる「行事」「資質・能力」の状況・・・10

2. 資料

様式2 令和7年度全国学力・学習状況調査結果・分析取組シート・・・11

様式1 令和7年度「魅力ある学校づくり研修会」提出資料・・・13

(全国学力・学習状況調査結果、県版質問紙調査結果等は共用フォルダで管理)

1. 今年度の取組

(1) 学校教育目標

【知】自ら学ぶ意欲を持つ生徒

【徳】豊かな心を持つ生徒

【体】健康でねばり強い生徒

(2) めざす生徒像 「よりよい未来の創造と自己実現を目指し学び活動する生徒の育成」

(3) めざす教師像の今年度重点事項

① ワークライフバランスを大切にし、心身共に健康・健全な教師

② 個人の尊重と生徒間・職員間の支持的風土づくりに努める教師

③ カリキュラム・マネジメントを実践し常に教育実践（授業・行事等）の改善を図る教師

(4) 重点的に育成を図る6つの資質・能力

資質・能力		具体的な生徒の学びの姿
①	主体性	自ら「問い」を立て、解決に向けて意欲的に考え行動する生徒
②	協働力	仲間と協力し、多様な意見を活かして問題解決や目標達成に貢献する生徒
③	言語能力	自分の思いや考えを的確に表現し、相手の意図を理解し対話を広げ深める生徒
④	国際性	自国の文化に誇りを持ちつつ、異文化を理解し尊重する気持ちを持ちグローバルな視点で行動する生徒
⑤	自己調整力	目標に向けて自らの学びや行動を計画し、ねばり強く努力し続ける生徒
⑥	キャリアプランニング能力	自分なりの生き方や夢を描き、実現に向けて具体的に計画し行動する生徒

(5) 2大プロジェクト

① 学びづくりプロジェクト【確かな学力】

自立した学習者の育成、組織的な授業研究を推進していくために、校内研修担当を中心に各学年所属の職員と週1回のミーティング（火の4校時に設定）を行った。学習指導要領と各教育施策を踏まえ、単元プランシートの作成と検討など主に授業づくりについて検討・共有を図る事ができた。

② 絆づくりプロジェクト【豊かな心・健やかな体】

なすことによって学ぶ、安全・安心な居場所づくりを推進していくために、生徒指導主任を中心に養護教諭、特別支援担当等も含めたミーティングを週1回（水の4校時に設定）行い、生徒の情報共有を行った。具体的な対応の手立て、方針について検討・協議し共通実践を図ることができた。

(6) 校内研修テーマ

自己実現を目指し学び活動する生徒の育成
～学びの価値を実感し、自己の成長を自覚できる教育活動の工夫を通して～

(7) R7、8年度 文部科学省指定：よりよい生き方を実践する力を育む道德教育の推進事業

研究テーマ

自己を見つめ、よりよい自己の生き方について深く考える生徒の育成
～道德的価値についての理解を深める授業づくりを通して～

授業実践について

(1) 授業の実践

月	日	曜日	教科領域	内 容	授業者	備考
5	7	水	道徳	A-(1)「カラカラカラ」	仲里肇洋	
5	13	火	道徳	B-(6)「父の言葉」	渡具知翔太	
5	20	火	道徳	B-(8)「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」	与儀勉	
6	4	水	英語	アーニャはスポーツ好き	渡久知翔太	初任研
6	6	金	道徳	B-(8)「松葉づえ」	仲里肇洋	上地主事要請
6	17	火	学級活動	期末テスト得点アップ大作戦	濱川詩織	2年研
6	19	木	道徳	B-(6)「橋の上のおおかみ」	與座人司	師範授業
7	9	水	道徳	C-(15) 私たちの合唱祭	富元麻美	中堅研
7	17	木	英語	オンライン英会話	郁代翔太	DMM
9	11	木	道徳	B-(9)「アイツとオレ」	教頭	
9	24	水	道徳	B-(9)その一言が未来を拓く	與座人司	
10	2	木	保健体育	応急手当の意義と基本(心肺蘇生法)	徳嶺浩明	養護教諭とTT
10	9	木	国語	比べて発見「枕草子の魅力」	濱川詩織	
10	23	木	道徳	C-(16)「自分の地域の『宝』って？」	渡久知翔太	初任者代表
10	29	水	特別活動	メリハリ上手なクラスにするためには？	濱川詩織	2年研
11	12	水	道徳	A-(4)「人間であることの美しさ」	與座人司	全校道徳
11	26	水	国語	方言を通して知る下地の歴史①	仲間梨奈	互見授業
11	27	木	国語	方言を通して知る下地の歴史②	仲間梨奈	互見授業
11	28	金	学級活動	A組をもっと男女仲良く過ごしやすいクラスにするには	渡久知翔太	初任研
12	12	金	英語	Unit6 Guide Dog	川上郁代	互見授業
12	17	水	英語	Program6 The Way to School	渡久知翔太	
12	23	火	数学	解きたくなる数学	伊志嶺綾乃	互見授業
1	23	金	自立活動	育てた野菜で調理実習にチャレンジ	新里千博	互見授業
1	30	金	道徳	全5学級(鈴木賢一先生の授業)	鈴木賢一	校内研修
2	20	金	道徳	A(1)「裏庭での出来事」	渡具知翔太	中間報告会
				B(9)「私の話を聞いてね」	砂川絢音	
				A(1)「二番目の悪者」	濱川詩織	
				B(9)「北川さんの悩み」	仲里肇洋	
3	18	水	道徳	A(4)「どうせ無理の壁を壊しよりよい未来の扉を開こう」	校長	自作教材



6月19日 與座人司先生授業



9月11日 教頭授業



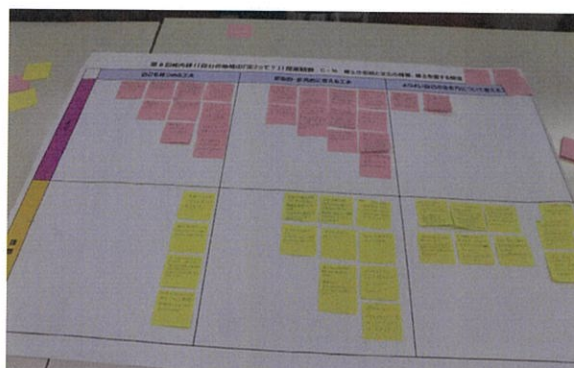
10月23日 渡久知翔太先生



10月29日 濱川詩織先生



授業後の振り返り①



授業後の振り返り②



11月26日 仲間梨奈先生



1月23日 新里千博先生



2月20日 砂川絢音先生



2月20日 仲里肇洋先生

(2) 学校評価からみられる学習の状況 (抜粋)

(生徒用 12 月)

No	評価項目	肯定的	否定的
6	自分から意欲的に授業に取り組んでいる。	90%	10%
7	自分なりの解決方法を知っている。	87%	13%
8	授業では課題を解決したりして理解を深めることができる。	91%	9%
9	授業では他の人から教えてもらったり、教えたりしている。	91%	9%
10	授業は工夫されて内容が理解しやすい授業が多い。	90%	10%
11	先生は、解らない所や質問にきちんと対応してくれる。	98%	2%
12	自分自身の学習評価の方法や内容について納得している。	90%	10%

(保護者 12 月)

No	評価項目	肯定的	否定的
1	子どもは、授業は工夫されて分かりやすいと言っている。	82%	18%
2	子どもは、授業で解らないことに対して先生はきちんと対応してくれると言っている。	87%	13%
3	本校での学習評価は、子どもの学習状況や理解を基に適切に行われている。	86%	14%

(教職員 12 月)

No	評価項目	肯定的	否定的
18	生徒の学習状況を見取り、個に応じた指導が展開されている。	87%	13%
20	週案を活用しPDCA（マネジメントサイクル）で授業改善に取り組んでいる。	70%	30%
17	学習評価について、評価規準に基づき評価している。	100%	0%

生徒の評価からは多くの面で肯定的な評価であるが、「自分なりの解決方法を知っている」ことが苦手な生徒がみられる。保護者からの評価は「授業」「先生の対応」「評価」は概ね高評価。教職員では「週案を活用しPDCAで授業改善」に取り組む必要があると分析できる。
そのことから、教師側がPDCAで授業改善に取り組むことで、生徒の「自分なりの解決方法を知っている」＝「自立した学習者の育成」につながるのではないかと考えられる。

(3) 授業実践の振り返り

多くの授業実践において、管理職も含めた授業参観と授業後の振り返りフィードバックに取り組む事ができた。また、授業振り返りをもとに授業改善に活かしていくことができた。今年度は経年研（初任、2年目、中堅）の職員もおり、また文科省指定の道徳研究の推進のために多くの授業実践に取り組む事ができた。指導案検討の際には県教委や宮古教育事務所、宮古島市教育委員会の主事の先生のアドバイスをもらいながら取り組む事ができた。また、互見授業においても多くの先生の授業実践があった。授業参観した教師同士や管理職と振り返りをしながら授業改善に取り組んでいく気運が高まっている。

(4) 授業実践に係る指導助言 義務教育課支援訪問（10月25日）

○「部分観察」を通して、子どもたちの表情が良く教師との関係性も良いと感じた。

子どもの頑張りを認め励ます掲示物が多くみられた→学びに向かう集団づくり

●ICTの活用はまだ子どもが受け身。自立した学習者の育成に向けた日常の授業改善（単元デザイン・授業プランの更新、ワクワクするような授業づくり、めあての提示で見通しを持たせ学力の定着に差が生じている場合、ICTを活用した「他者参照」や「ジャンプ問題を提示」しても良いのではないかと。

学校行事の取組について

(1) 主な学校行事などの取組

月	日	曜日	主な取組	対象学年	備考
4	18	金	トライアスロン参加選手交流会	全学年	
4	20	日	トライアスロンボランティア	3 学年	
4	23	水	読書講話（ブックスきょうはんとコラボ）	全学年	
5	2	金	新入生歓迎球技大会	全学年	生徒会行事
5	23	金	生徒総会	全学年	生徒会行事
5	25	日	池原公園草刈りボランティア	全学年	
5	30	金	ゴミゼロ運動	全学年	
6	9	月	SDG s と福祉	1 学年	総合的な学習
6	16	月	SDG s マングローブ学習	3 学年	総合的な学習
6	18	水	平和学習	全学年	
7	17	木	オンライン英会話（DMM）	2, 3 年	
8	14	木	台湾交流事業出発（～8 月 19 日）	10 名	
9	21	日	運動会	全学年	
9	28	日	池原公園草刈りボランティア	全学年	
10	6	月	福祉体験	1 学年	
10	30	木	強歩大会に向けた台湾基隆市の記念 T シャツ贈呈式	全学年	副市長参加
10	31	金	中学校文化祭（舞台の部）	3 年男子	
11	10	月	未来講話（登山家：石川直樹さん）	全学年	
11	18	火	修学旅行（九州～21 日まで）	3 学年	
11	19	水	ワールドクラスルーム	1 学年	英語科
11	19	水	職場体験学習（～21 日まで）	2 学年	
11	21	金	ジャガイモ植え	1 学年	
11	30	日	強歩大会	全学年	
12	21	日	オープンスクール（となんフェスティバル）	全学年	
1	19	月	こども園交流会	3 学年	家庭科
2	19	木	音楽鑑賞会（バイオリン演奏会）	全学年	
2	4	水	宮古島市ワークショップ	生徒会役員	
2	13	金	ジャガイモ収穫	1 学年	
3	18	水	未来講話（SUP：来間翔太さん）	全学年	



4 月 20 日 トライアスロンボランティア



4 月 23 日 読書講話（ブックスきょうはん）



5月30日 ゴミゼロ運動



6月16日 マングローブ学習会



8月14日 台湾交流事業



9月21日 運動会



11月18日 修学旅行



11月21日 ジャガイモ植え



11月19日 職場体験学習



3月18日 未来講話 (SUP 来間氏)

(2) 学校評価からみられる生徒の状況（抜粋）

（生徒用 12 月）

No	評価項目	肯定的	否定的
1	学校に行くのは楽しい	95%	5%
2	学校で学んでいることが自分の将来に繋がっていると感じている	96%	4%
3	学校での活動を通じて自分自身の成長を実感できている	93%	7%
4	自分にはいいところがあると感じている	87%	13%
5	学校や学級、部活などで頼りにされていると感じることがある	70%	30%

（保護者 12 月）

No	評価項目	肯定的	否定的
6	子どものことについて学校や学級担任に話しやすい雰囲気がある	73%	17%
10	本校では生徒の間違った行動等に対してしっかり指導している	80%	20%
12	学校行事は学習した事の発表の場として適切に設定されている	86%	14%

（教職員 12 月）

No	評価項目	肯定的	否定的
1	校長の経営目標の実現を目指した教育課程が編成され実践されている	87%	13%
3	学校行事等の教育活動は事後評価をもとに改善が図られている	77%	23%
4	班会議、運営、職員会議、職朝は機能的に実施されている	85%	15%
10	時間外勤務の管理、業務改善等働き方の取組が推進されている	77%	23%

生徒の評価からは、学校に行くことの意義を感じている事が伺える。一方で、「自分にはいいところがある（自己肯定感）」や「頼りにされている（自己有用感）」ことについて、否定的な評価がみられている。保護者からの評価は概ね良いが、話しやすい雰囲気や、指導について否定的な評価もみられていることから、より信頼を得るような働きかけが必要ではないかと分析できる。教職員では「教育課程の編成と実践」については良いが「事後評価を基に改善が図られてるか」や「会議の機能」について反省がみられている。さらに、「時間外勤務の管理」「業務改善等の働き方改革の取組推進」について否定的な評価もみられている。

そのことから、今年度の実践は生徒にとって有意義であったということができ、保護者にとっても、満足できたと考えられる。

一方で、教員の働き方改革や、事後評価を活かした業務改善などに課題がある。

今年度の取組は成果があったが、PDCAマネジメントサイクルを活かし「教育活動の質を維持した働き方」を模索していく必要があると考えられる。

(3) 実践の振り返り

多くの行事について、充実した取組ができた。なすことによって学ぶことについて「体験的な活動」にも多く取り組む事ができた。また、「未来講話」「オンライン英会話（DMM）」「ワールドクラスルーム」「台湾交流事業」など、本校の特色のある取組について充実した取組となっている。

また、トライアスロンボランティアやゴミゼロ運動、地域の公園清掃、こども園の交流など地域貢献ボランティアにも取り組む事ができた。

これらの取組の成果として、アンケートから生徒にとって、非常に効果があると評価できる。

一方で、教職員の働き方や業務管理にも課題がみられた。

今後は「地域との連携」「小中連携」「保護者との協働」などをキーワードに取り組んでいくことが重要であると思われる。

今年度の特徴ある取組について

(1) 「やりとり帳」について

今年度導入している「やりとり帳」について、授業や家庭学習一日の振り返り等の記入を通して、本校が育成を目指す6つの資質・能力における「自己調整力」「キャリア・プランニング能力」の育成を図ることができた。

また、担任とのやりとりを通して、自己肯定感の醸成に繋がった。

木 9月18日 行事予定			朝の時間	昼	給食は人食で?
教科	持ち物・服装など	提出物・連絡	11:17	12:04	Yes・No
1 国	新・ノ・新・新・新・新		ひたひたに見た200mの130mの100m		
2 国	新・ノ・新・新・新・新		0月06やん??		
3 国	新・ノ・新・新・新・新	家庭学習			
4 国	新・ノ・新・新・新・新				
5 国	新・ノ・新・新・新・新				
6 国	新・ノ・新・新・新・新				

金 9月19日 行事予定			朝の時間	昼	給食は人食で?
教科	持ち物・服装など	提出物・連絡	10:12	11:52	Yes・No
1 国	新・ノ・新・新・新・新		ひたひたに見た200mの130mの100m		
2 国	新・ノ・新・新・新・新		0月06やん??		
3 国	新・ノ・新・新・新・新	家庭学習			
4 国	新・ノ・新・新・新・新				
5 国	新・ノ・新・新・新・新				
6 国	新・ノ・新・新・新・新				



(2) 英語科のICTを活用した授業実践（オンライン英会話）

英語科においてICTを活用した「オンライン英会話」に取り組む事ができた。

世界各国の生徒とオンラインで英会話を行うことを通して、英語への興味関心の向上、学びに向かう意欲、言語能力の育成に繋がっている。



(3) 台湾交流事業について

今年度で21回目を迎えた台湾漢口中学校との交流事業では、10名の生徒が8月14日～19日までの期間に台湾を訪問し交流を深めることができた。

本校の育成したい資質・能力における「言語能力」「国際性」の育成に繋がっている。



(4) 強歩大会について

Aコース約47km完走率62%、Bコース約26kmは完走率98%であった。
実施に際して、宮古島市の姉妹都市である台湾基隆市より応援Tシャツの贈呈や、地域の方々からの寄贈、保護者の運営協力など多くの支援を頂くことができた。
また、当日までに全体道徳（内容項目：A-(4)強い意志）の実施完全攻略マニュアル（スケジュール管理）等に取り組み、育成を目指す6つの資質・能力の育成に繋がった。



(5) となんタイムについて

生徒の「主体性」「自己調整力」の育成を図る1つの手立てとして、登校後、8時25分までの時間をとなんタイムと設定し生徒の自主的な活動（読書、自習、一日の見通しを立てる等）に取り組んだ。生徒が主体的に自分自身の課題について取り組む時間としている。



(6) 「花いっぱいプロジェクト」

環境教育の一環として、環境整備委員会を中心に生徒を募って校内の環境美化に取り組んだ。
ユートピアファームの上地登氏を招いて、ブーゲンビレアの栽培を中心に取り組む事ができた。
サルビアやインパチェンス、菊の栽培にも取り組む事ができた。



(7) となんフェスティバル

12月20日のオープンスクールに際して3年生の実行委員会を中心にレクレーションに取り組む事ができた。日程的に厳しい中、工夫を凝らして準備・実行をすることで「主体性」「協働力」の育成に繋がったと感じている。



(8) 学校評価からみられる「行事」や「育成したい資質・能力」の状況（抜粋）（色分けは資質能力）
（生徒用 12 月）

No	評価項目	肯定的	否定的
21	学級や生徒会、行事では、1人1人に番があり役割が与えられている。	95%	5%
24	とんちタイムややりとり帳を活用することができる	68%	32%
25	自分自身で考えて、判断して、解決のために行動することができる。	92%	8%
26	いろいろな意見をふまえて、仲間と協力して活動することができる。	96%	4%
27	考えを的確に表現したり、相手の意図を理解し対話することができる。	95%	5%
28	異文化を理解していろいろな価値観を尊重することができる。	95%	5%
29	わからない事ができるようになるように、努力することができる。	97%	3%
30	自分の目標を達成するため具体的に計画して行動することができる。	90%	10%

（保護者 12 月）

No	評価項目	肯定的	否定的
15	生徒の自己実現を目指した教育の実践が展開されている。	84%	16%
23	子どもは学校での出来事を話してくれる。	80%	20%
25	自分で考え、判断し、責任を持って行動する力	70%	30%
	課題解決のために、仲間と協力して学んだり活動する力	77%	23%
	「読んだり」「書いたり」「話したり」する言葉を使う能力	61%	39%
	多様な価値観を理解し尊重することができる資質	66%	34%
	それがわかる（できる）ようになるために計画し、実践する力	57%	33%
	自分の将来を想像し、目標・計画を立てて学び活動する力	48%	52%

（教職員 12 月）

No	評価項目	肯定的	否定的
26	「やりとり帳」による振り返りを通して自己調整力の育ちを促進している。	87%	13%
27	「とんちタイム」展開し生徒の学びに向かう自己調整力が図られている。	77%	23%
32	自分で考え、判断し、責任を持って行動する力	77%	23%
33	課題解決のために、仲間と協力して学んだり活動する力	100%	0%
34	「読んだり」「書いたり」言葉を使って「話したり」する言葉を使う能力	87%	13%
35	多様な価値観を理解し尊重することができる資質	100%	0%
36	わかる（できる）ようになるために計画し、実践する力	70%	30%
37	今やるべきことの目標・計画を立てて学び活動する力（自己実現）	70%	30%

生徒の評価では、「とんちタイム」や「やりとり帳」の活用について、否定的な評価が32%であることから、取り組み方法について改めていく必要があると分析できる。質問30の「自分の目標を達成するために具体的に計画して行動することができる」についても他と比較して否定的な回答があることから「やりとり帳」と「とんちタイム」を効果的に活用させていく必要性がみられる。保護者の評価については、全体的にやや厳しい評価となっている。

教職員では質問36の「わかる（できる）ようになるために計画し、実践する力」、37の「今やるべきことの目標・計画を立てて学び活動する力（自己実現）」について、不十分であると捉えている。

そのことから、「やりとり帳」「とんちタイム」を効果的に実践するための手立てを考えていく必要があると考えられる。また、行事に際して、生徒が具体的に計画・立案して実行していくなどの取組の工夫が必要であると考えられる。



『図南鵬翼』の志で未来へ羽ばたこう